

## 産学官連携研究会 HoPE 2026活動方針

### ● 2026 年度スローガン

「しなやかな企業、持続可能な未来。産学官で挑む、北海道の新しいモノ・コトづくり。」

いま世界は、第2次世界大戦を経て国連のもとに構築された国際社会の連帯と平和の秩序が相次いで踏みにじられ、戦後最大の危機に直面しています。そして、物価高と原材料不足、エネルギー問題や経済的格差の是正、気候変動対策など解決が求められている課題が山積。道内では人口減少や少子高齢化、人材不足が一層進み、雇用と地域経済を担う中小企業を取り巻く経営環境は一層厳しさを増しています。

そうした中2025年度HoPEは、北海道発宇宙ビジネスの可能性から、世界経済の動向、移住やデザイン都市、畜産や森林資源、小水力とエネルギー、食と農、さらにAIや臨床美術など、中小企業と北海道が直面する課題や活路を共に探究しました。

2001年6月に誕生したHoPEは、今年度25周年を迎えました。HoPEは産学官の多面的な連携を通して新たなシーズやニーズを探り、中小企業の発展と北海道経済の活性化を目指す先駆的な活動を展開してまいりました。この25年の歩みを通して、モノづくりやコトづくりをはじめ、農業や食料、さらに医療・介護・福祉・教育・物流・交通等を包括した豊かで持続可能な地域社会構築のカギは、産学官金の有機的な連携にあることが明らかとなりました。新年度は、関係機関との連携を活かし社会的課題解決の担い手である21世紀型企業づくりをさらに深化させ、激動と共に歩むしなやかな事業 しなやかな企業づくりを進めてまいります。

### 「組織・人・マインド」

#### ウェルビーイングな経営

人間尊重経営、ジェンダー平等、企業倫理、ダイバーシティ推進による、組織の潜在能力解放

#### デザイン経営と創造的組織文化

経営視点のデザイン活用による顧客理解の深化や組織としての顧客価値創造力の強化を学ぶ

#### 社会教育&リカレント

大学などとの連携による社会教育活動、共に学び成長するオープンな学び場を提供する

## 「産業・技術・稼ぎ方」

### テクノロジーとスタートアップ

北海道の強みを生み出す新しいテクノロジーを知る、ゼロから価値を生む起業家精神に学ぶ

### 産業のクロスバリュー

北海道ならではの農業・食・観光を掛け合わせた新ビジネスや北海道ブランドの可能性を探る

### 国際経済への適応

激動する国際情勢を捉え、グローバルな視点を持った地域産業の発展を考える

## 「地域・環境・社会」

### GX(グリーントランスフォーメーション)の推進

ゼロカーボン北海道を実現するための「再エネ・省エネ・楽エネ」で、持続可能な社会を展望する

### 生物多様性と環境経営

生物多様性の保全と経済活動を両立できる、自然共生型の新しい企業や事業のあり方に学ぶ

### 産学官金ネットワークの深化

セクターを超えた全道の連携・共創のプラットフォームで持続可能な地域社会の基盤をつくる

### 地域が抱える社会課題の探究

貧困と格差、インフラの老朽化など、都市と地方が直面する課題を踏まえた“もう一つの未来”を展望する、